



F A Q

よくあるご質問



お客様サポート・よくあるご質問〔製品1〕



Q1

とめ太郎®とは、どんなパテ剤ですか？

A1

とめ太郎®とは、ポリオレフィン系原料で特殊生成した、流れ出ている漏水を止める目的と「浸水対策」に於いて、漏水を事前に予防する目的の為に開発された、環境にも人体にも優しく、耐水性能に富む、不乾性の一液性止水パテ剤となります。



Q2

とめ太郎®の製品ラインナップは？

A2

とめ太郎®は、5 kgカップと1 kgカップの2種類となります。又、バックアップ材として「すう太郎（吸水スポンジ 1,000L）」更に、オプション品として“斫れるモルタル”プレミックスモルタル「ハツレーる」も、ご用意しております。



Q3

とめ太郎®の耐熱温度は、何度ですか？

A3

とめ太郎®の耐熱温度は、(-20) ~ 90℃です。再生可能エネルギー現場で、使用される「特別高圧ケーブル」にも、安心して、ご使用頂けます。充填箇所表面温度が、温度域を外れる場合は、事前にお問合せ下さい。



Q4

とめ太郎®の使用温度は、何度ですか？

A4

とめ太郎®の使用温度（雰囲気）は、20~35℃です。但し、上記温度域は、ストレス無く充填作業が行える目安となります。寒冷地などで、止む無くマイナス域での、充填作業を行う場合は、事前にお問合せ下さい。



Q5

とめ太郎®の水密性能は？

A5

とめ太郎®の耐水圧は、すう太郎(バックアップ材)+とめ太郎の2層充填施工(再通線が容易な基本施工)で、0.05Mpa/30分間の耐水圧性能を有しています。



お客様サポート・よくあるご質問〔製品2〕



Q6

とめ太郎®の耐食性は？

A6

とめ太郎®は、塩水浸漬試験を実施しております。
外観・粘度・重量変化を基準に、自社試験にて総合判定を行い、「耐食性有り」と、判断しております。



Q7

とめ太郎®の耐塩素性は？

A7

とめ太郎®は、塩素水浸漬試験を実施しております。
外観・粘度・重量変化を基準に、自社試験にて総合判定を行い、「耐塩素性有り」と、判断しております。



Q8

とめ太郎®の、耐酸性・耐アルカリ性は？

A8

とめ太郎®は、耐酸性・耐アルカリ性試験を実施しております。
自社試験にて、酸性 pH1.0~pH3.0未満・pH4.0以上、アルカリ性 pH6.5~pH8.0・pH2.0以上それぞれ、とめ太郎®を浸漬させ、外観の状態を観察、「耐酸性・耐アルカリ性有り」と、判断しております。



Q9

とめ太郎®の、耐久性は？

A9

とめ太郎®は、性状的観点から“半永久に硬化しないパテ剤”として、2020年に発売し、現況「耐久性」を証明する試験報告書の発行は、出来かねますが、5年・10年周期での、社内試験実施を予定しています。



Q10

「建築物における電気設備の浸水対策ガイドライン」が、R2年 国交省 / 経産省から発布されています。とめ太郎®は同ガイドラインの適合品ですか？

A10

同ガイドラインは、適合製品を指定しているものではありません。
ガイドライン本文P19に掲載している「浸水リスクを低減する為の取組」の掲載文面『防水区画の形成（防止扉の設置、電源引き込み口や配管の貫通部等の止水処理）』に、合致する製品となります。



お客様サポート・よくあるご質問〔製品3〕



Q11

とめ太郎®、すう太郎（バックアップ材）それぞれ使用量目安は？

A11

とめ太郎®使用量目安は、パンフレットに掲載されており、更にEPJ Web内のTOMETARO PAGEに「使用量目安計算ツール」を設けております。すう太郎（バックアップ材）は、対象物の太さにより、大幅に異なる為、詳細不明な場合は、5kgカップ：3～5本、1kgカップ：1～2本が目安です。



Q12

とめ太郎®は、FEP管（ポリエチレン）以外の管路にも使用可能ですか？

A12

とめ太郎®は、ポリエチレンはもとより、塩ビ等の樹脂製品、ゴムや金属・コンクリートに至るまで、あらゆる材質にしっかり密着し、強い水の流れにも対応可能です（規定値有）。



Q13

とめ太郎®の保管方法を教えてください。

A13

とめ太郎®は、直射日光などが当たらない、風通しの良い場所で、必ず常温下で保管下さい。又、カップは、必ずきちんと蓋をして下さい。



Q14

とめ太郎®カップ内の、同梱品は何ですか？

A14

とめ太郎® 5kgカップには、軍手とビニール手袋、1kgカップには、ビニール手袋がサービス品として付属しています。（箱梱包にも、カップそれぞれに付属していますので、5kg箱には軍手2組+ビニール手袋2組、1kg箱にはビニール手袋8組が同梱）



Q15

とめ太郎®は、樹脂ペール缶パッケージですが、コーキングガンで充填したいのですが、カートリッジ式のとめ太郎の取扱いはありませんか？

A15

とめ太郎®は、樹脂ペール缶（カップ）のみの、取扱いとなります。とめ太郎®は、漏水補修を主眼に開発された、特殊生成の高粘性パテ剤であり、CVTケーブルに最適な手詰め充填を推奨する、日本国内の電気設備工事の事情を考慮したパテ剤となります。



お客様サポート・よくあるご質問〔製品4〕



Q16

とめ太郎®を、採用したいのですが、納入実績表の提出は可能ですか？

A16

可能です。発売以来、官公庁・地方自治体工事はもとより、数々の「浸水対策工事（耐水化）」での納入実績。又、各電力会社様の施設工事、再生可能エネルギー構築工事、民間大型施設建設でも、大手ゼネコン様から、高いご評価を頂いております。安心してご採用下さい。



Q17

とめ太郎®施工にはオプションである「すう太郎(バックアップ材)」を、必ずセット購入する必要がありますか？

A17

いいえ。必ずセット購入頂く物ではございませんが、すう太郎は、吸水性能を有したスポンジです。充填厚の目安・充填に於ける壁の役割、更に流量の多い漏水には、水を堰き止める役目も行う為、漏水補修の場合は、特にセットご購入を、お薦めしています。



Q18

とめ太郎®を購入しましたが、車の中に保管したいが、問題無いか？

A18

基本的に不乾性の為、問題御座いませんが、カップは必ず封をし、日陰且つ風通しの良い状態（常温下）で保管下さい。夏場など、極端な温度上昇が想定される車内保管は、避けて下さい。



Q19

とめ太郎®を、実際充填している動画が観てみたい。

A19

You Tubeに、充填動画UPしております。YouTubeで、”とめ太郎®ちゃんねる【EPJ INC.】”を検索下さい。チャンネル内『とめ太郎® 充填動画 Ver 3』が、2023年11月現在の、最新の動画となります。



Q20

とめ太郎®オプション品：プレミックスマルタル ハツレーの、充填及び撤去方法の動画が観てみたい。

A20

You Tubeに、ハツレーる充填/撤去方法の動画UPしております。同じくYouTubeで、”とめ太郎®ちゃんねる【EPJ INC.】”を、検索下さい。タイトル『ハツレーる充填～撤去動画』です。



お客様サポート・よくあるご質問〔施工1〕



Q1

とめ太郎®を使用すれば全ての漏水に対し、完全止水可能ですか？

A1

とめ太郎®は、完全止水を保証する製品ではありません。
とめ太郎®は漏水補修パテ剤です。
漏水の可能性のある需要場所は、事前の予防充填で漏水の確率を、大幅に下げられます。



Q2

とめ太郎®を初めて使用する為、充填施工の方法がわかりません。
施工手順の資料はありますか？

A2

もちろん、ご用意しております。
とめ太郎カップ内に“取扱説明書”が入っています。
更に、梱包CupラベルのQRコードから、YouTube動画で“施工手順”が、閲覧可能です。



Q3

とめ太郎®充填施工にあたり、事前に準備するものはありますか？

A3

とめ太郎®パンフレット並びに、EPJ WEB内 TOMETARO PAGEに
“ご施工手順(取扱説明書)”に「事前にご用意するもの一式」を、
掲載しています。
事前に必ず、ご参照下さい。



Q4

とめ太郎® “取扱説明書”に記載している、ビニール手袋の上に軍手を、
装着し「水に軍手を濡らしながら充填して下さい」と、記載していますが、
必ず行わなくてははいけませんか？

A4

とめ太郎®は、高粘性につき、ビニール手袋にとめ太郎®が絡みつき、
非効率の為、当社実証実験の結果で、ビニール手袋の上から軍手を
装着し、小まめに水に濡らしながら充填作業を進めた場合が、特に
高効率であると判断しております。



Q5

とめ太郎®の“取扱説明書”に記載しているように、何故とめ太郎を
「玉状に丸めて・・・」押し込むのですか？

A5

とめ太郎®は、高粘性につき、小まめに丸めて詰め込む事が、当社実証
実験の結果、最良の充填方法と、判断しております。
(尚、施工手順”は、“ご施工手順(取扱説明書)”のQRコードから、
YouTube動画を閲覧可能です)



お客様サポート・よくあるご質問〔施工2〕



Q6

設定されている「最低充填厚100mm厚」で、漏水は完全に止まりますか？

A6

わかりません。充填環境・作業者の技能レベル等で止水性能は変動しますし、勿論規定以上の水圧には耐えられません。止水確率を上げる為、FEP内空間と、ベルマウス挿入先端の重ね合せ部隙間を埋めるべく、各サイズ毎に設定されている「推奨充填厚」をご採用される方もいらっしゃいます。



Q7

とめ太郎®の、「推奨充填厚」とは、何ですか？

A7

FEP内空間と、ベルマウス挿入先端の重ね合せ部隙間を埋めるべく、FEP管ベルマウスのL長を考慮した、φ100以上サイズに設定されている充填厚となります。『φ100~125/150mm厚, φ150・200/200mm厚』が、FEP管の「推奨充填厚」となります。



Q8

とめ太郎®は、CVTケーブル(トリプレックス)の漏水にも使用出来ますか？

A8

もちろん可能です。高粘性のとめ太郎は、CVTケーブル撚り合わせ隙間に充填する事により、ケーブル被覆の膨張収縮にも、しっかり纏わり、追随し、漏水補修(予防)を、行う事が可能です。
(どうしても止まらない「水みち」には、推奨品：耐熱シーラーをご提案)



Q9

とめ太郎®を、「屋外設置」したいのですが、大丈夫でしょうか？

A9

とめ太郎®は、暗所での設置目的で開発した製品の為、お薦め出来ません。但し、止む無く設置をなされる場合は、必ずとめ太郎®表面に塗料を塗布するなど、必ず、紫外線劣化を鈍化させる方策を講じて下さい。弊社でも推奨塗料の販売を行っております。お問い合わせ下さい。



Q10

とめ太郎®を、「屋外設置」したいのですが、施工箇所が直射日光が当たる可能性があります。大丈夫でしょうか？

A10

とめ太郎®は、屋外設置は勿論、直射日光が当たる場所への設置は、出来かねます。但し、止む無く設置をなされる場合は、必ず表面に塗料を塗布するか、硬化型の仕上材で、とめ太郎®を必ず、覆って下さい。
(但しA9・A10の対策で、屋外設置を容認するものではありません)



お客様サポート・よくあるご質問〔施工3〕



Q11

とめ太郎®をスリーブ(貫通部)の隙間充填に使用したいが問題無いか？

A11

問題御座いません。各現場毎の仕様に基づき、ご採用頂いています。但し、スリーブ(貫通部)のご施工は現場毎様々な仕様が存在する為、ご不明点は、事前にお問合せ頂く事を、お奨めします。



Q12

とめ太郎とハツレーをスリーブ(貫通部)の隙間充填した場合の、充填厚は？

A12

スリーブ(貫通部)のご施工は、壁厚・ご施工箇所等現場毎様々な仕様が存在する為、一概に充填厚をお答えする事は出来ませんが、とめ太郎® 50mm厚と、ハツレー(仕上材)50mm厚 充填で0.15Mpa / 30分間が、水密試験値となります。現場施工管理者もしくは施工図面でご確認下さい。



Q13

とめ太郎®を、スリーブ(貫通部)の隙間充填に使用したいが、最深部にバックアップ材又は、最前部に仕上材が必要か？

A13

いずれも必要です。バックアップ材⇒とめ太郎⇒仕上材(硬化性)の、3層のご提案となりますが、現場施工管理者もしくは施工図面でご確認下さい。(バックアップ材は、麻紐(ヤーン)等でも代用は可能ですし、仕上材は硬化型のオプション：ハツレーや、エポキシ系接着剤をお奨めします。



Q14

とめ太郎®を、ケーブル(管路)立ち上げ部に充填は可能ですか？

A14

基本的に可能ですが、管路口防水材料などとの併用をお勧め致します。管種によってはとめ太郎®の、製品自重で下方(管路奥側)に落ち込む事も、想定される為、脱落防止策を講じて設置下さい。詳細は別途お問い合わせ下さい。



Q15

とめ太郎®と、すう太郎(バックアップ材)の2層充填を基本施工と、なされていますが、モルタルなどで、最終的に仕上処理を施す、3層充填を行う必要はありませんか？

A15

とめ太郎®は、2層充填を基本施工としています。必ずしも3層充填の必要はありません。ケーブル被覆損傷防止観点で、モルタル・接着剤等で、最終層を固める方式はお勧めしておらず、施工性・コスト面でも、充填後のケーブル入替時に撤去が容易な、2層充填をお奨めています。



お客様サポート・よくあるご質問〔施工4〕



Q16

とめ太郎®の耐水圧は0.05Mpa/30分間ですが、明らかに同数値以上の、高い水圧が予想される漏水箇所があります。使用出来ませんか？

A16

判断出来かねます。オプション品ハツレーるで3層充填をお試し頂く事も方策のひとつと考えます。
(とめ太郎® + ハツレーるの組み合わせで、水密性0.15Mpa / 30分間の高い水密性能を有しています。詳細はパンフレットご参照下さい)



Q17

ハンドホールが水没、ベルマウス(接続継手)を伝って、他のハンドホールに、漏水を及ぼす可能性はありますが、とめ太郎®で対応可能ですか？

A17

とめ太郎®は、同事例を想定し、ハンドホール内部からベルマウス(接続継手)を伝い、FEP管側への水密試験を実施しており、Φ50に於いては、0.05Mpa/120分間の高耐水圧性能を有しております。安心してご使用下さい。



Q18

とめ太郎®で、FEP管用のベルマウス(接続継手は含まず)のハンドホール壁面削孔部への、固定取り付けは出来ますか？

A18

ベルマウスの固定取り付けは出来ません。
固定取り付けは、エポキシ系接着剤や、モルタル等の完全硬化する製品で、対処願います。
但し、固定装着後の「止水処理」には適任となります。



Q19

ハンドホール壁面部に固定取付したFEP管用のベルマウス(接続継手は含まず)下方から漏水しています。とめ太郎で止水可能ですか？

A19

特殊な事例は除き、止水可能です。ハンドホール内部からベルマウス円周部の固定している材料をまずは取り除き、とめ太郎®を円周上に充填。エポキシ系接着剤(オプション品)で、表面仕上処理と共に再度固定を行って下さい。



Q20

とめ太郎®をベルマウス内に充填し、漏水は止まったが、今度はベルマウス下方から漏水が始まってしまった。何か対処方法は有りませんか？

A20

ハンドホール壁面には見えない漏水箇所が存在します。まずは、とめ太郎®充填厚を、再確認。その後一度、とめ太郎®を撤去し、FEP内空間と、ベルマウス挿入先端の重ね合わせ部隙間を「推奨充填厚」で、丹念に再充填し、ベルマウス下方はとめ太郎®とエポキシ系接着剤で仕上げる。



お客様サポート・よくあるご質問〔施工5〕



Q21

とめ太郎®は、防鼠材として使用可能ですか？

A21

とめ太郎®は、防鼠材では有りませんし、忌避効果がある薬剤などが、含有されている訳では有りません。ネズミの侵入を絶つ事が可能な、パテ剤です。詳細はEPJ WEB内 TOMETARO PAGEの“ネズミ対策とめ太郎”パンフレットをご参照下さい。



Q22

とめ太郎®充填施工にて特に注意する点はありますか？

A22

FEP管に限らず、管路充填は、奥側→下部→左右→上部の順に充填。特に、FEP内面の凹凸部・FEP内空間とベルマウス挿入先端の重ね合わせ部隙間は特に丹念に充填下さい。更に、CVTケーブルの撚り合わせ隙間は出来るだけケーブルを拡げ、指でとめ太郎®を奥へ塗り込んで下さい。



Q23

とめ太郎®を、小口径FEP管に充填する場合、すう太郎(バックアップ材)が、そのまま入らない場合は、どうすれば良いですか？

A23

とめ太郎®パンフレット並びに、EPJ WEB内 TOMETARO PAGEに“ご施工手順(取扱説明書)”に「事前にご用意するもの一式」を掲載しています。準備したハサミで、すう太郎(バックアップ材)を小さく切断し、充填箇所へ投入下さい。



Q24

以前、他社不乾性パテ剤は3層充填/最終層を“固める”充填をおこなったが、今回も、とめ太郎®と共に3層充填/最終層を“固めたい”が問題無いか？

A24

止む無く3層目(最終層/仕上処理)を、固める場合は、後のケーブル入替が容易な、とめ太郎オプション品プレミックスモルタル「ハツレー」をお勧め致します。詳細は、EPJ WEB内 TOMETARO PAGEにて、ハツレー パンフレットをご参照下さい。



Q25

施工管理者から3層目の仕上処理に「不燃材」充填を言い渡されたのですが、対応可能ですか？

A25

とめ太郎® オプション品プレミックスモルタル「ハツレー」がおすすめします。同製品はモルタル=不燃材であり、750°Cの耐熱性能を有しています(社内試験)。事前に仕様書提出の上、ご採用は施工管理者様の、指導に則して下さい。

